



## とやま型学力向上プログラム(Ⅲ期)

確かな学力につながる「問題発見・解決能力」を育成するために、2つの視点からの授業改善に取り組んでいます。今回のあしすとでは、視点1に焦点を当ててお伝えします。

### 視点1 子供の問題(課題)意識を高める

・なぜだろう。・今までと違うぞ。どうしてだろう。  
・できる、分かるようになりたい。もっと知りたい。



## 子供の問題(課題)意識を高める授業とは ～とやま型学力向上プログラム(Ⅲ期)の推進に向けて～

各学校でみられた今年度の取組を基に、とやま型学力向上プログラム(Ⅲ期)で示している視点1「子供の問題(課題)意識を高める」授業づくりについて紹介します。

### <自分の思いや願いを生かし、主体的に活動できる学習環境の工夫>

#### 【小学校2年 生活科】「つくろう!ぼく・わたしの水辺パーク」

教室の近くにある水辺パークを、身近にあるものを利用し、遊び場として改善していく単元を構想しました。子供たちは、生き物の観察ができるパークにしようと、ペットボトルで仕掛けを作り、生育環境を調べて設置場所を検討するなど、それぞれの思いや願いの実現に向けて課題を設定し、自分で計画を立てて活動しました。



👉 一人一人が、自分の思いや願いを基に課題を設定し、夢中になって活動に取り組むことができるよう、対象に繰り返し関わり働きかけることができる時間の確保、場の設定をしています。

### <問題解決の見通しをもつ場の設定>

#### 【中学校3年 数学科】「関数の活用」

「100m先の危険を察知した自動車が、事故を回避できるか」という問題に対し、速さと制動距離の関係をグラフに表して、特徴を捉える場を設定しました。生徒は、新しく学習した関数が日常生活とつながり、問題解決に生かせることに気付くことで、学ぶ意義を感じ、表や式、グラフなどを活用して意欲的に学習を進めました。



👉 問題解決的な学習に主体的に取り組めるよう、生徒が単元で身に付ける力を意識して見通しをもって学習し、学ぶ意義を実感できる場を設定しています。

### <導入での事象提示の工夫>

#### 【小学校5年 理科】「魚のたんじょう～いのちのはじまりを考えよう～」

導入で、一人一つずつ育てているメダカの受精卵を、電子顕微鏡と大型モニターを接続して提示しました。子供たちは、自分が育てている卵の中でメダカの体が動いている様子を目の当たりにしたことで「いのち」を実感し、いのちのはじまりについて考えてみたいという思いを高めました。



👉 子供が興味・関心を高めて問題を見いだしたり、意欲的に解決したりできるよう、直接体験の機会を重視し、事象に向き合う場を設定しています。

### <自ら問題を見付け、主体的に考え解決できる学習展開の工夫>

#### 【中学校2年 道徳】「たすきとポンポン」

運動会の係決めて悩む3人の生徒の葛藤が描かれた教材を読み、性別で役割が決まっていることを常識と思っていることなど、感じた問題点を伝え合う場を設定しました。生徒自身が解決すべき問題点を焦点化できるよう、教師が発問や問い返しを適宜行い、多様な考えや気付きを引き出しました。問題を自分ごととして捉え、解決のために3人にどのようなアドバイスをしたらよいかを自分との関わりで捉えました。



👉 答えが一つではない道徳的な課題を一人一人の子供が自分自身の問題として捉え、向き合えるよう、考え、議論する問題解決的な学習を取り入れています。

### <子供の気付きや疑問を基にした学習課題の設定>

#### 【小学校4年 社会科】「地震から暮らしを守る」

社会に見られる課題の把握につながるよう、市内全世帯を対象とした「避難行動アンケート」の結果を提示しました。予想に反した結果に子供たちは驚き、「また地震が来たら本当に自分や家族の命を守ることができるのか」など、地震への備えや避難について問題意識を高めた子供たちの発言を基に本時の学習課題を設定しました。



👉 社会的事象を自分ごととして捉えられるよう、生活経験と結び付けて考えられる身近な題材を提示し、子供の気付きや疑問を基に学習課題を設定しています。

## その「課題」は「子供たちが考えたいこと」になっていますか？

子供は、具体的な事実に直面したり様々な情報を得たりする中で、対象に強い興味や関心をもちます。そして、興味ある事象についての学習活動に取り組む子供は、納得するまで課題を追究し、本気になって考え続けようとします。こうした子供がもつ本来の力を引き出し、それを支え、伸ばすように指導していくことが大切です。

子供たちが興味・関心をもち、意欲を高め、自分ごととして学習に取り組めるよう、「子供たちは、自分の課題をもっているのか」「課題をもつための場を保障しているか」「導入時に高まった興味・関心が途中で立ち消えていないか」などの視点から、授業を振り返ってみませんか。